

学習センター

利用の手引



2022年度

 **放送大学**
佐賀学習センター



放送大学学歌

那珂太郎作詞

(一)

あまたの星々のなかの この地球にあつて
われらはまなぶ 世界を 自分を
われら どこから来て どこにゐるのか
生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ
知は光 みどりの未来を展ひらくため
いつでも どこでも

見えない友と 共に生き 共にまなぶ

開かれた大学 放送大学

(二)

はるかな永劫のなかの この時代にあつて
われらは知らう 社会を 自然を
われら どこから来て どこへ行くのか
生きるとは知ること 知ることとはよるこび
知は力 よりよい生を拓ひらくため

朝あさに 夕ゆふに

親しい友と 語り合ひ 友にまなぶ

開かれた大学 放送大学

表紙：写真提供 佐賀県立九州陶磁文化館

【佐賀県立九州陶磁文化館】

概要 九州陶磁文化館は陶磁器専門の博物館として昭和55年（1980）にオープンしました。16世紀末から現代までの九州の陶磁器を収集展示していますが、所蔵品の数や展示は地元の有田焼が中心となっています。展示の目玉は、江戸時代に有田からヨーロッパへ輸出され昭和49年（1974）に里帰りした蒲原コレクションと、平成2年（1990）から14年間に亘って10,311点の有田焼が寄贈された柴田夫妻コレクションです。両方とも江戸時代の有田焼を主にするものですが、海外向けの蒲原コレクションと国内向けの柴田夫妻コレクションは対照的な内容でそれぞれの特徴を楽しむことができます。

有田は日本磁器の発祥地として、約400年間も白くて硬く美しい磁器を生産してきました。この岩山に囲まれた地区で磁器が生まれたのは、泉山の陶石が発見されたことが産業として発展する大きな要因でした。山裾には幾つもの登窯が築かれ、谷間の道沿いには窯元や商人たちの家が連なり、独特の街並みが形成されました。街なかには焼物の里らしい歴史を感じさせる痕跡や風景が至る所にあります。これらを歩きながら間近に見ることで、産地の歴史を実感することができます。遺産ではなく、今でも生きている歴史文化を楽しめるところです。

*2022年度第1学期面接授業「ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化」が5月21日(土)～22日(日)の2日間、同館の鈴木由紀夫館長を講師として迎え開催されます。古陶磁の歴史的な背景を理解し、その時代の文化や人々の暮らしぶりを楽しみ、同時に同館のコレクションや有田に残る史跡、街並みを見学し、生産地のリアルな歴史を体感していただけます。

目 次

はじめに	2
放送大学及び佐賀学習センターの沿革	3
開所日及び利用時間	4
施設の案内	5
視聴学習室の利用	6
放送大学附属図書館等の利用	8
放送教材（DVD・CD）の郵送貸出	9
インターネットを活用した在学生向けシステム	11
各種届出等	14
諸証明書等	15
学習の基本的事項	16
単位修得までの流れ（学部）	17
単位修得までの流れ（大学院）	18
2022年度 単位認定試験時間割（大学院）	19
2022年度第1学期 単位認定試験時間割（学部）	20
2022年度第2学期 単位認定試験時間割（学部・予定）	22
2022年度学年暦	24
登録科目名等のメモ	28
学習進度チェック表	30
課外活動等紹介	31
2022年度佐賀学習センター開所日カレンダー	32
佐賀学習センター案内図	33

❖ 佐賀学習センターのスタッフ ❖

センター所長	滝澤 登 (化 学)	事 務 長	野中 幸子
客員教授	米山 博志 (物 理 学)	事 務 職 員	市山 郁生
客員教授	古川 未喜 (中国文学)	〃	藤井 雅弥
客員教授	羽石 寛志 (情 報)	〃	柴田衣美子
客員教授	中尾友香梨 (日本文学)	〃	松永 那穂
客員准教授	山崎美穂子 (英 文 学)	〃	前田 麻那
客員准教授	中島 俊忠 (心 理 学)		
客員准教授	孫 友容 (法 学)		

はじめに

「ひねくれもの」のススメ —学びに求められるもの—

2021年度は、新型コロナウイルスの度重なる流行の波に翻弄された1年でした。佐賀学習センターでは、ワクチン接種の普及などから、感染症対策を十分にとりながら、対面での面接授業や公開講演会、サークルやマンスリー・ゼミなどの開催に努め、学生のみなさんに、withコロナの下で多様な学びの機会を提供してまいりました。2022年度を迎え、みなさんは、各自の様々な要請・希望に沿って、放送大学生としての学びを始めようとされていることと思いますが、学ぶために、学びを継続するために大切なことは何でしょうか。

大切なことのひとつは、「興味を持ち続けること」ではないでしょうか。無条件に講義の中身を飲み込むのではなく、「先生はそういうけど、本当かね」とちょっとひねくれ、猜疑心をもって常に疑問を投げかけ、安易に他人に（先生に）答えを求めるのではなく、自ら考え、その疑問と立ち向かい、興味を持ち続けて学びを深めましょう。安易に与えられた答えは、学びを深めてくれません。その典型はみなさんも経験されたであろう受験勉強でしょう。受験勉強は、知識を増やしてはくれても（どうせすぐ忘れてしまいますが）思考力を深めてはくれません。学びの主要な成果である思考力は、自ら苦悶して勝ち取るものであり、他人に与えられるものではないのです。

将来を見通すことができない現在のよう状況下では、とかく善悪を明確にした極端な主張が支持を得やすいものですが、それらに振り回されず、世間一般の風潮や常識を疑うこと、常識に対して少しひねくれた態度で立ち向かうことも、みずからの思考力を高めるために必要なことでしょう。例えば、昨年度ぐらいから急にSDG'sや地球温暖化防止に絡めた自動車の全電動化などが世界的に取り上げられていますが、これらの流れは何が作り出しているのか、これらに取り組むことで本当に人類の持続的発展という課題は解決するのか、などちょっとひねくれた態度で考えてみるのも良いことでしょう。ちなみに、現段階で結論を修正する必要がない科学理論である「古典熱力学」によれば、「なんらかの行為をなんの痕跡も残さずに実施することは不可能であり、行為には無駄がつきものである」ことが示されています。

1月から2月にかけて、オミクロン株の急拡大に伴う蔓延防止措置の適用により、再びセンターの活動が制限されていますが、新年度を迎える4月には状況も好転していることでしょう。佐賀学習センターでは、放送授業やオンライン授業による皆さんの学びのお手伝いをするともに、地域性も取り入れた多くの面接授業や少人数月1回のマンスリー・ゼミなど、いろいろな学びの機会を提供していきます。放送大学の学びにおいて判らないこと、困難さを感じられたときには、気軽に学習センターにお尋ねください。少しずつでも、ゆとりある豊かな社会生活を取り戻していきましょう。

放送大学佐賀学習センター所長

滝澤 登

放送大学及び佐賀学習センターの沿革

昭和56年 6月	放送大学学園法（昭和56年法律第80号）公布・施行
7月	放送大学学園設立
58年 1月	放送大学設置認可
4月	放送大学設置
60年 4月	学習センター学生受入れ開始、放送授業開始
平成10年 1月	C S デジタル放送による全国放送開始
4月 1日	放送大学佐賀学習センター仮事務所設置（佐賀市城内、旧佐賀県視聴覚ライブラリー跡）
6月12日	放送大学佐賀学習センター事務所開き（佐賀市天神、アバンセ4 F）
7月 5日	放送大学第105回公開講演会開催（アバンセ第1研修室）
9月18日	放送大学佐賀学習センター開所式
10月 1日	全国の学習センターで全科履修生受入れ開始 放送大学佐賀学習センター学生受入れ開始
11年12月 3日	佐賀短期大学との単位互換協定調印
12年 5月12日	佐賀女子短期大学との単位互換協定調印
10月20日	佐賀大学との単位互換協定調印
11月16日	九州龍谷短期大学との単位互換協定調印
13年 4月	放送大学大学院修士課程設置
6月19日	西九州大学との単位互換協定調印
14年 4月	放送大学大学院生受入れ開始、放送授業開始
15年10月	放送大学学園法（平成14年法律第156号）の施行に伴い、特殊法人から特別な学校法人に移行
19年12月18日	「大学コンソーシアム佐賀」設置（県内5大学及び放送大学佐賀学習センター）
20年 5月31日	放送大学佐賀学習センター開設10周年記念講演会開催 県内5大学及び放送大学において単位互換協定締結
23年10月	B S デジタル放送開始
26年 4月	放送大学大学院博士後期課程設置
27年 4月	オンライン授業配信開始
30年 3月	放送大学佐賀学習センター学生等交流室の増床及び個室化
6月 2日	放送大学佐賀学習センター開設20周年記念式典・記念講演会開催
令和 3年 1月15日	唐津ビジネスカレッジとの連携協定の覚書を締結

開所日及び利用時間

期 間	曜 日	事務室の利用時間	視聴学習室の利用時間
通常期間 〔4月1日～7月14日〕 〔7月27日～1月15日〕 〔1月26日～3月31日〕	火～土	9:30～17:45	
	日	8:30～16:45	
単位認定試験実施期間 〔7月15日～7月26日〕 〔1月17日～1月25日〕		9:00～19:00	9:00～18:45
		※自宅受験の場合の、事務室・視聴学習室の利用時間は通常期間と同じです。	
閉所日	<ul style="list-style-type: none"> * 月曜日 * 国民の祝日 * 年末年始（12月29日～1月3日） * 所長が特に必要と認めた日（8月12～14日） 		

☆ 学習センターの開所日及び利用時間は、学習センター毎に地域の実情に応じて異なりますので、所属以外の学習センターを利用の際はご注意ください。

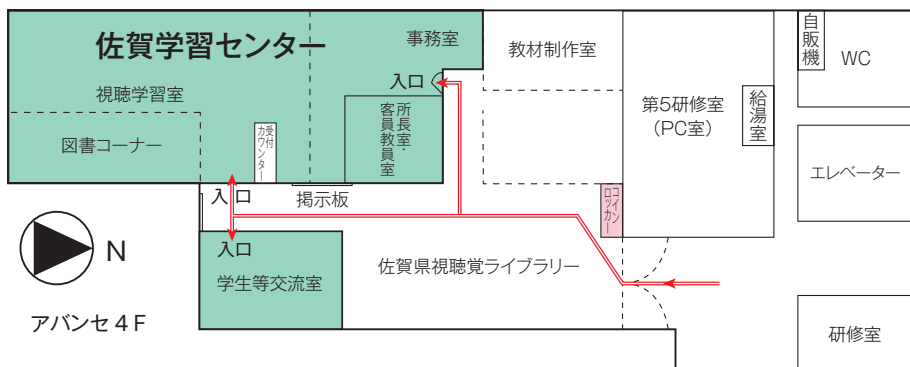


視聴学習室



視聴学習室受付、バリアフリースペース

施設の案内



○事務室

履修に関すること、各種手続き、諸証明書の発行等を行っています。必要のつど申し込んでください。

その他、分からないことは気軽にご相談ください。

○視聴学習室

すべての放送教材が備えられており、個別の視聴席で、都合の良い時間に学習できます。図書資料として、事典・辞書類を中心に学習の参考図書を配架しています。

○受付カウンター

放送教材の視聴、図書資料の閲覧など視聴学習室の利用に関する手続きは、すべて受付カウンターで行います。

○掲示板

センターの閉所日、利用時間の変更、その他学生へのお知らせは掲示板に掲示します。センターに来られたら、必ず掲示板を見るようにしてください。

* 視聴学習室利用の場合は、学習上必要なもの以外の持ち込みはできません。不要なものはアバンセの1階と4階の県視聴覚ライブラリーの入口に設置されている **コインロッカー** を利用してください（使用時には100円必要ですが、後で返却されます）。

* 駐車場については、アバンセ北側の駐車場を利用してください。

視聴学習室の利用

視聴学習室（図書コーナー含む）は、放送大学の授業や講座の視聴など、学生皆さんが、放送大学で学ぶために必要な自己学習支援のため、センター内に設置しています。

授業等に必要な放送教材や配架している参考図書の閲覧、室内にある個別ブース（机）での放送授業の視聴といった学習にご利用ください。（それ以外での目的での利用については、アバンセ1～3階内に数カ所設けられているスペースをご利用ください。）

利用時間

火曜日～土曜日 9：30～17：45 日曜日 8：30～16：45

（閉所日は、月曜日、祝日、年末年始、所長が特に必要と認めた日）

利用申込み

入口にある受付カウンターで学生証の提出と体調申告シートを記入し入室し、図書閲覧、視聴等を開始してください。職員不在の場合は、受付カウンターにあるチャイムを押してください。

* 「バリアフリースペース」（図書・視聴学習室の入口横に設置）の利用について

車椅子等を利用されている等の障がい者、介助同行される方など、学習や行動に支援を要する方を対象としたスペースとして「バリアフリースペース」を新たに設置しています。

- ①利用希望される際は、事前（利用日の1週間前まで）に、佐賀学習センターあてメールまたは電話で学籍番号、氏名、連絡先、支援が必要な状況（車椅子等を利用、介助者同行等）をご連絡ください。
- ②利用日当日に、「バリアフリースペース」が空いている場合は、支援を必要としない学生皆さんにも利用いただけます。受付カウンターで利用の申込みをして下さい。
なお、利用中に、車椅子等を利用される方や介助者が同行される方など、学習や行動に支援を必要とされる方が、来所・利用希望された場合は、利用を中断し「バリアフリースペース」を譲って頂きますのであらかじめ、御了解ください。

放送授業の視聴方法

視聴機器の操作は丁寧に行ってください。誤った操作をしますと機器が損傷、故障するおそれがありますので、不明な点があれば職員におたずねください。

（1）放送教材（DVD・CD）を再生しての視聴

- ・DVD、CDプレーヤーを設置した個別ブース（机）でご利用ください。
- ・2017年度までに開設された科目、2018年度の開設科目（大学院科目を除く）のDVD・CDを1セット配架しています。これらの科目については、閉講するまでの間、配架を行います。
- ・2019年度以降の新規開設科目のDVD・CDについては、配架を行いません。

(2) パソコンでの視聴

- ・個別ブース(机)に設置しているパソコンで放送授業のインターネット視聴ができます。
- ・うち2席のパソコンでシステムWAKABAにアクセスすることができます。

(3) 個人のパソコン等の持込による視聴

放送授業の視聴等のため、視聴学習室へ個人のパソコン等(スマートフォン、タブレットを含む)の持込使用が可能です。利用の際は、下記研修を受講のうえ手続きをお願いします。

- ①放送大学が指定するeラーニングのサイバーセキュリティ研修(放送大学の自己学習サイト「2019年度情報セキュリティ研修(学生用)」)を受講してください。
- ②受付カウンターで「無線LAN利用申請書」に必要事項を記入して提出してください。あわせて、上記①研修の小テストに合格すると発行される「修了証」を提示してください。
- ③「無線LAN利用許可書」に記載されているIDとパスワードを入力して、ネットに接続してください。

図書資料の室外貸出

2019年4月から学習センター所属図書資料の室外貸出がなくなり、放送大学本部にある附属図書館で一括して行います。

放送大学所蔵の図書資料は、放送大学OPAC(図書館蔵書検索システム)で検索できますので、視聴学習室の学生パソコンをご利用ください。

佐賀学習センターへのご希望の図書の配送を希望される方は、放送大学OPACでの申込み、あるいは視聴学習室備え付けの申込書で手続きを行ってください。(ご自宅へ配送される場合の送料は個人負担となります。)

- ①教養学部学生は、貸出期間は1ヶ月以内、冊数は1回10冊まで
- ②大学院学生は、貸出期間は1ヶ月以内、冊数は1回修士20冊、博士30冊まで

詳しくは放送大学附属図書館のホームページ(<https://lib.ouj.ac.jp/>)、「学生生活の葉」の附属図書館の利用方法をご覧ください。

文献複写

図書資料の複写を希望する者は「文献複写申込書」に記入し、複写する図書資料とともに受付カウンターに申し込んでください。

- ①文献複写の申し込みは、視聴学習室利用時間終了30分前までです。
- ②文献複写料金は、コピー1枚につきモノクロ10円、カラー50円です。
- ③文献複写については、著作権法により制限がありますのでお尋ねください。

放送大学附属図書館等の利用

放送大学附属図書館の利用（千葉市美浜区若葉2-11）

学習センターを通して図書の貸出し、文献複写、他大学図書館の利用申し込みなどができます（文献複写料金、郵送料等は申込者負担）。なお、利用の際は学生証が必要です。

また、本部図書館資料の貸出状況は、学習センター図書端末及びOPAC（蔵書検索システムの詳細については「学生生活の葉」をご覧ください）で検索できます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、利用可能なサービスが通常時と異なっております。今後の状況の変化により、サービス内容を変更する可能性がありますので、皆様におかれましてはWebページ等で随時確認のうえ、ご利用ください。

佐賀大学附属図書館の利用

佐賀大学附属図書館を利用する場合は、図書館カウンターで学生証を提示し、所定の手続きを行い、「図書館利用証」の交付を受けてください。なお、利用に際しては佐賀大学附属図書館利用規程などに従ってください。

放送大学セミナーハウスの利用

放送大学学園本部（千葉市）にあるセミナーハウスは、研修、演習、実習、放送大学公認の学生団体が行う課外活動、あるいは学生の個人学習のための利用が可能で、宿泊もできます。

詳しくは「学生生活の葉」119～122ページをご覧ください。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、本学においても国の方針等を踏まえ、感染拡大を避ける措置として、当分の間、セミナーハウスの新規使用予約の受付が中止されています。Webページ等で随時確認のうえ、ご利用ください。

放送教材（DVD・CD）の郵送貸出

BS放送が受信できない又はインターネット環境がない等、ご家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材（DVD・CD）を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。（2023年3月19日～2023年3月31日は特別整理期間のため、郵送貸出しは行いません）

※学習センターでは室外・郵送貸出しを行いません。

1 貸出できる放送教材

- (1) 学期の初めから単位認定試験期間終了まで
 - ・履修している科目
 - ・再試験を受験する科目
 - ・特別講義
- (2) 単位認定試験期間の翌日からその学期終了まで
 - ・開講中（1学期は閉講後再試験科目を含む）の全ての科目
 - ・特別講義

2 貸出期間・貸出数

- (1) 貸出し期間
20日間以内
- (2) 貸出し枚数
DVD・CD合わせて5枚以内

※上記の日数には、放送大学本部からの発送日及び返却到着日を含みます。

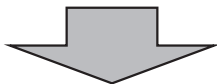
3 貸出方法

放送教材貸出申込書を「郵送」又は「FAX」してください。「インターネット」による申込みもできます。なお、お電話での申込みは一切受け付けません。放送大学本部からの郵送方法は第四種郵便のみとし、送料は往復分とも申込者（学生）負担となります。

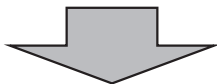
4 放送教材の郵送貸出し申込みから返却までのながれ

- a 申込みに必要なもの
 - i) 放送教材郵送貸出申込書（※申込書は、「学生生活の葉」の巻末の様式17をA4に拡大コピー又はシステムWAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください。）

- ii) 送料分の切手（※郵便料金は料金表を参照してください。）
 - ・ 郵送申込みの場合：申込用紙に切手を貼付してください。
 - ・ FAX申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。
 - ・ インターネット申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。



- b 放送大学本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 から申込受付順に放送教材を確認して発送（発送作業は平日（土・日・祝休日・年末年始・特別整理期間のぞく））
 - ※正午以降に受付けた場合は、翌発送日の取扱いとなります。



- c 視聴後、放送大学本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 へ返送
 - ・ 郵送された際に同封されていた申込書のコピーも放送教材と一緒に返送してください。
 - ・ 新たに放送教材貸出の申込みを行う場合は、新規に貸出申込書を作成し、送料分の切手を貼付してください。

【第四種郵便（通信教育用）料金表】

～100 g	101～200 g	201～300 g	301～400 g
15円	25円	35円	45円

◎料金の目安

DVD・CD 共通1枚：15円、2枚：25円、3～4枚：35円、5枚：45円

※郵送申込みを第四種郵便で行う場合は、封筒のサイズを最小縦14cm・横9cm、最大縦60cm・縦と横と厚さの合計90cmに収め、封筒ののりしろ部分を3分の1程度切り取り、「文部科学省認可通信教育」と表示してください。

※速達による郵送を希望する場合には、料金分の切手を追加し、郵送又はFAXによる申込の場合には申込書の「速達希望」の「する」にマルを付けてください。インターネットによる申込みの場合には、第1希望の科目名の後に「速達希望」と入力してください。

5 申込み先

(1) 郵送による申込み

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2-11

放送大学 学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当

電話番号 043-276-5111（総合受付）

(2) FAXによる申込み

FAX番号 043-298-4510

(3) インターネットによる申込み

https://www.ouj.ac.jp/hp/BorrowDVD_v01/

インターネットを活用した在学生向けシステム

放送大学ホームページ URL <https://www.ouj.ac.jp/> ※

放送大学ホームページには、在学生への各種情報やお知らせが多く掲載されています。各種パンフレット、放送大学で目指せる資格、公開講演会等の案内、授業科目（シラバス）、動画チャンネル、学生の声等多くの役立つ情報がありますので、是非、ご利用ください。

教務情報システム（システムWAKABA） ※

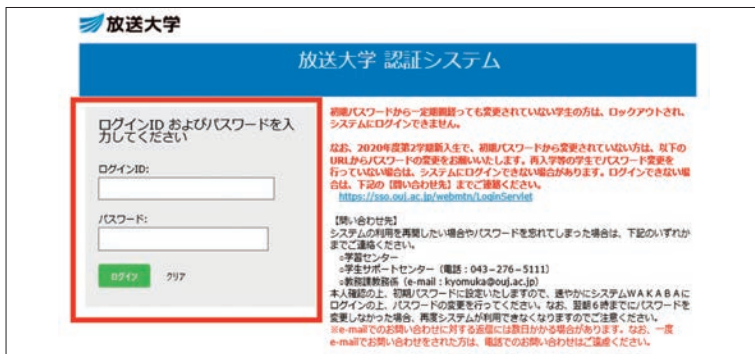
学籍情報や単位の修得状況などを閲覧するための「教務情報機能」に加え、学生生活における各種お知らせや手続き情報を取得するための「キャンパスライフ機能」、放送授業等の履修科目の学修を支援するための「授業サポート機能」があり、本学学生のためのポータル（入口）サイトとしても機能します。

1. 放送大学HPにアクセスし、トップページ上部右「在学生の方へ」から⑥「システムWAKABA（教務情報システム）」をクリックするとログイン画面が出ますので、ログインボタンをクリックしてください。

The screenshot shows the OBU website homepage with several callouts:

- ①: Points to the 'インターネット活用' (Internet Utilization) link in the '入学案内' (Admission Information) section.
- ②: Points to the 'パンフレット' (Pamphlets) link in the '入学案内' section.
- ③: Points to the 'インターネット生活した大学' (Living at University with Internet) link in the '放送大学へ' (About OBU) section.
- ④: Points to the '心構えを学びたい' (I want to learn the attitude) link in the '在校生に' (For Current Students) section.
- ⑤: Points to the 'システムWAKABA' link in the '入学案内' section.
- ⑥: Points to the 'システムWAKABA' link in the '在学生の方へ' (For Current Students) dropdown menu.
- ⑦: Points to the 'キャンパスメール' (Campus Mail) link in the '在学生の方へ' dropdown menu.
- ⑧: Points to the '学習センター' (Learning Center) link in the '在学生の方へ' dropdown menu.
- ⑨: Points to the '証明書' (Certificate) link in the '在学生の方へ' dropdown menu.

2. 次に放送大学認証システムの画面が出ますので、初めてログインする際には入学許可証に記載のログインID・パスワードを入力し、ログインボタンを押してください。
なお不正使用を防ぐために必ず初期パスワードを変更してください。



3. システムWAKABAへログイン後、①お知らせ（本部からのメッセージが表示されます。）、②キャンパスメール（大学からの連絡事項が届きます）、③メインメニュー（キャンパスライフ、授業サポート、教務情報の各機能が利用できます。）④学内リンク（Web通信指導、放送授業のインターネット視聴、試験の過去問題・解答の閲覧等ができます。）などの機能を利用できます。

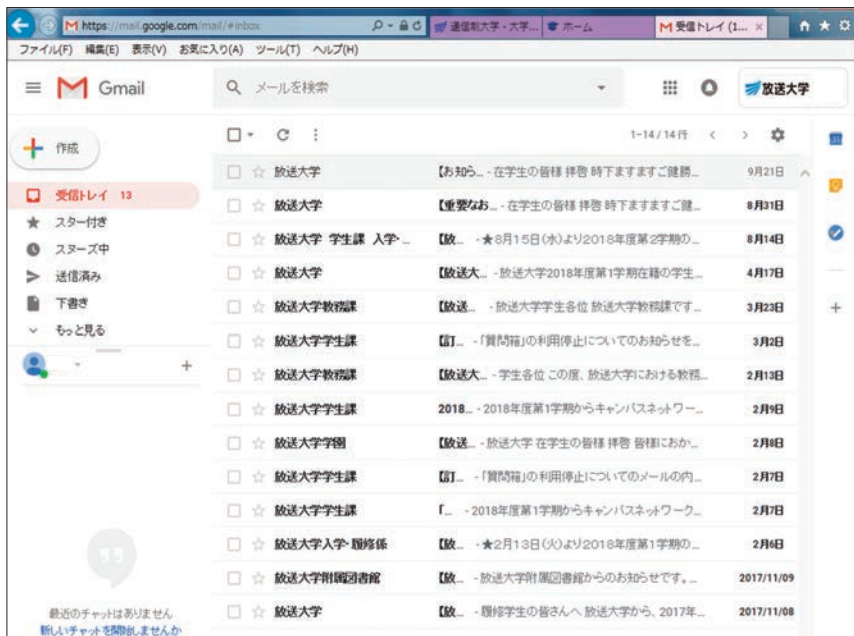
パスワード変更は⑤「パスワード変更」のリンクから行うことができます。



キャンパスメール ※

Webブラウザを利用した電子メールシステムで、学生全員にメールアドレスが割り振られます。システムWAKABAのログイン画面（12ページ3の画面）の左上部の「キャンパスメール」のボタンをクリックして利用してください。

大学から修学関連の連絡を随時しますので、定期的にキャンパスメールを確認するようにしてください。キャンパスメールは学生から大学への連絡手段としてもご利用いただけます。（学生メールは本学に在籍しなくなると使用できなくなり、送受信の記録も消去されますのでご注意ください。）



佐賀学習センターホームページ ※

URL <https://www.sc.ouj.jp/center/saga/>

大学情報に加え、佐賀学習センター独自の情報を発信しています。教務スケジュールやイベント、緊急情報などを掲載していますので是非ご利用ください。

佐賀学習センターお知らせメール配信サービス

佐賀学習センターにメールアドレスを登録されると授業や試験等に関するお知らせや緊急連絡等のメール配信を受けられます。登録方法の詳細は、佐賀学習センターホームページに掲載しています。

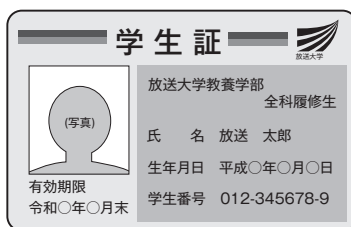
※ インターネットに接続された自宅などのパソコンからアクセスできます。

各種届出等

学生証の発行

学生証の発行は、佐賀学習センターで行います。
単位認定試験や視聴学習室利用の際に必要なのです。
で、事務室で手続きを受けてください。

また、紛失、汚損等による使用不能、氏名の変更等の場合は、再発行の手続きを行ってください。
(詳細及び再発行については、「学生生活の葉」を参照してください。)



各種届出

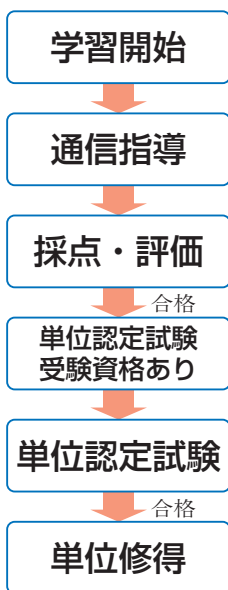
下記の書類は、提出期限内に到着するよう指定の提出先へ提出してください。
各種様式は、「学生生活の葉」巻末に添付されています。詳細については、「学生生活の葉」を確認してから提出してください。

なお、教務情報システム（システムWAKABA）からも利用できます。

提出書類	提出先	提出期限	
		第1学期	第2学期
所属学習センター 変更願 次学期に学籍がない方は 変更できません。	学部 本部学生課 大学院 全科生…本部教務課 選科生…本部学生課	☆第2学期からの変更 4月20日から8月10日まで	☆翌年度第1学期からの変更 10月20日から翌年の2月8日まで
所属コース・専攻変更願兼 カリキュラム移行届(学部のみ)	学部 本部学生課	☆第2学期からの変更 4月20日から6月7日まで	☆翌年度第1学期からの変更 10月20日から12月7日まで
住所等変更届	学部 所属学習センター 大学院 全科生…本部教務課 選科生・科目生…本部学生課	変更後すみやかに提出してください。 ※ 住所変更の際は、郵便局へ「転居届」も提出してください。 (引越先によっては、所属学習センター変更を行ってください。)	
氏名等変更届	学部 本部学生課 大学院 全科生…本部教務課 選科生…本部学生課	変更後すみやかに提出してください。 ※ 学生証の再発行手続きも必要です。(所属学習センター) 一緒に提出してください。	
休学願・復学願 科目履修生・修士科目生は 休学できません。	学部 本部学生課 大学院 全科生…本部教務課 選科生…本部学生課	☆第2学期から休学又は復学す る場合 システム：4月20日から9月30日まで 郵 送：4月20日から9月25日まで	☆翌年度第1学期から休学又は 復学する場合 システム：10月20日から翌年3月31日まで 郵 送：10月20日から翌年3月25日まで
退学願 科目履修生・修士科目生は 退学できません。	学部 本部学生課 大学院 全科生…本部教務課 選科生…本部学生課	☆第1学期末で退学する場合 システム：4月20日から9月30日まで 郵 送：4月20日から9月25日まで	☆第2学期末で退学する場合 システム：10月20日から翌年3月31日まで 郵 送：10月20日から翌年3月25日まで

単位修得までの流れ（学部）

今学期



未提出

不合格

◎通信指導

放送及び印刷教材により行われた授業について、各学期の途中に1回一定の範囲で出題され、その答案(レポート)の添削を通して担当教員の指導を受けること。

※1

次学期の通信指導については前ページの◎通信指導 ただし書を参照下さい。

単位認定試験
受験資格なし

学籍の継続が条件

不合格

学籍の継続が条件

次学期

◎全科履修生・次学期も学籍がある選科履修生

放送大学本部から「科目登録申請要項」が送付されますので、履修しようとする授業科目を記入して本部へ郵送してください。

◎学籍がきれる選科履修生・科目履修生

放送大学本部から「継続入学用出願票」が送付されますので、それにより手続きしてください。

なお、全科履修生に入学しようとする方は一般の学生募集要項を取り寄せ、「全科履修生出願票」により手続きしてください。

通信指導※1

未提出

不合格

採点・評価

合格

単位認定試験
受験資格あり

単位認定試験

不合格

合格

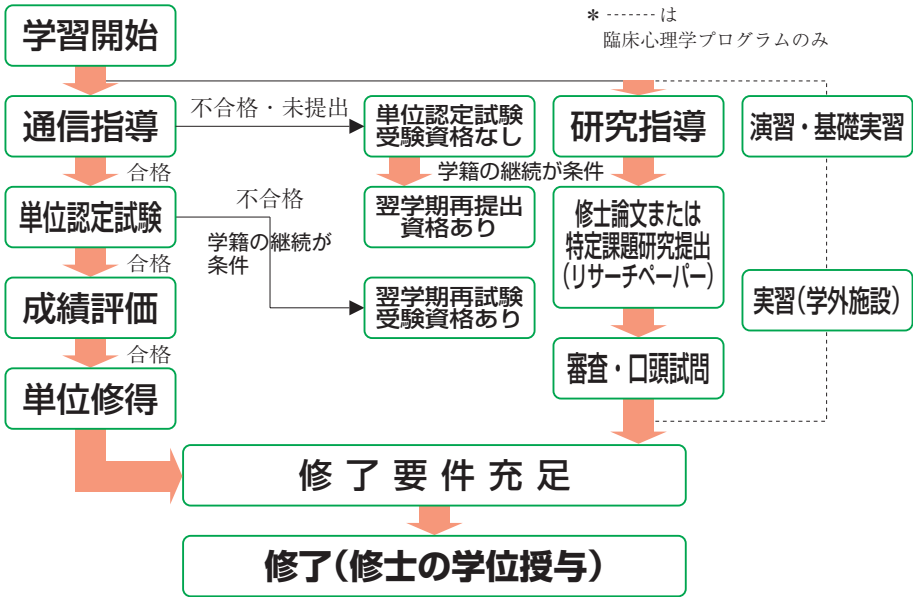
単位修得

単位認定試験
受験資格なし

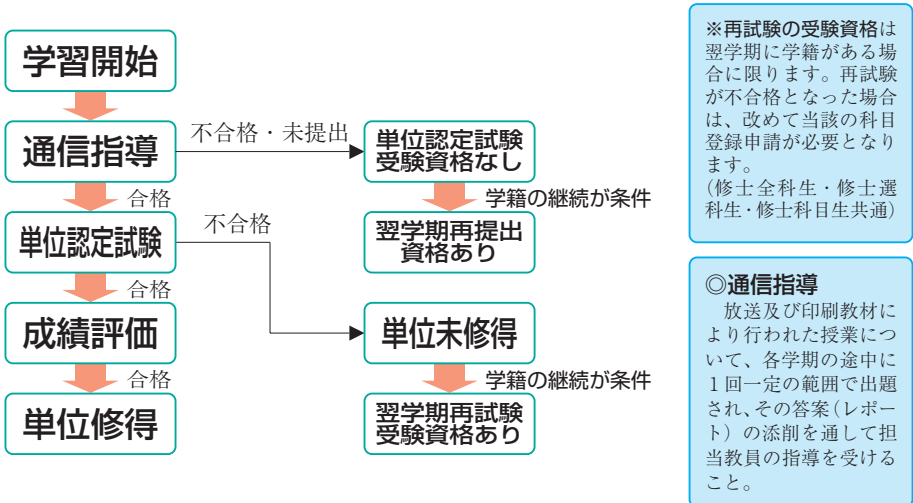
改めて
科目登録

単位修得までの流れ（大学院）

修士全科生 学位取得まで



修士選科生・修士科目生 単位認定まで



2022年度 単位認定試験時間割 (大学院)

第1学期 ※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

(予定) 第2学期 ※第2学期の試験時間割は変更される場合がありますので、必ず2022年度第2学期の「授業科目案内」で確認してください。
※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

時限	曜日	7月15日(金)	7月16日(土)
1		現代社会心理学特論(15) 道徳教育の理念と実践(20) マルチメディア情報処理(20)	精神医学特論(16) 経済政策(17) 海外の教育改革(21) 精神医学特論(22) 経済政策(22)
9:15 ↓ 10:05			
2		生活変動と社会福祉(18) 情報学の技術(18) 臨床心理面接特論Ⅱ(19) 日本文学の研究史(21)	教育行政と学校経営(20) 地域産業の発展と主体形成(20) 司法矯正・犯罪心理学特論(20)
10:25 ↓ 11:15			
3		音楽・情報・脳(17) 福祉政策の課題(18) 現代物理の展望(19) モダニズムの文学と文化(21) 福祉政策と人権(22)	人的資源管理(18) ヘルスリサーチの方法論(19) 日本史料を読む(21) 人的資源管理(22)
11:35 ↓ 12:25			
4		スポーツ・健康医科学(19) ソフトウェア工学(19) 社会的協力論(20) 臨床心理地域援助特論(21)	生涯学習の新たな動向と課題(18) 朝鮮の歴史と社会-近世近代(20) 健康・スポーツ科学研究(21) 学校臨床心理学特論(21) 教育老年学(22)
13:15 ↓ 14:05			
5		計算論(16) 生活リスクマネジメント(17) 公共政策(17) 発達心理学特論(21) 公共政策(22)	道を極める-日本人の心の歴史(16) 心理・教育統計法特論(21) 数理科学(21) 日本文化と思想の展開-内と外と(22)
14:25 ↓ 15:15			
6		教育文化の社会学(17) 現代訴訟法(17) 臨床心理学研究法特論(18) 情報デザイン特論(22)	都市社会構造論(18) コミュニティヘルスケア研究(19) カリキュラムの理論と実践(21) 保健医療心理学特論(22)
15:35 ↓ 16:25			
7		成人発達心理学(17) 公共哲学(17) 臨床心理面接特論Ⅰ(19) 現実と向き合う政治理論(22)	異言語との出会い(17) 障害児・障害者心理学特論(19) 知財制度論(20) リスク社会における市民参加(21) 異文化との出会い(22)
16:45 ↓ 17:35			
8		臨床心理学特論(17) コンピューティング(19) 成人の発達と学習(19) 西洋中世史(21)	教育心理学特論(18) 美学・芸術学研究(19) 家族政策研究(21)
17:55 ↓ 18:45			

時限	曜日	1月17日(火)	1月18日(水)
1		教育心理学特論(18) 美学・芸術学研究(19) 家族政策研究(21)	臨床心理学特論(17) コンピューティング(19) 成人の発達と学習(19) 西洋中世史(21)
9:15 ↓ 10:05			
2		海外の教育改革(21) 精神医学特論(22) 経済政策(22)	現代社会心理学特論(15) 道徳教育の理念と実践(20) マルチメディア情報処理(20)
10:25 ↓ 11:15			
3		教育行政と学校経営(20) 地域産業の発展と主体形成(20) 司法矯正・犯罪心理学特論(20)	生活変動と社会福祉(18) 情報学の技術(18) 臨床心理面接特論Ⅱ(19) 日本文学の研究史(21)
11:35 ↓ 12:25			
4		ヘルスリサーチの方法論(19) 日本史料を読む(21) 人的資源管理(22)	音楽・情報・脳(17) 現代物理の展望(19) モダニズムの文学と文化(21) 福祉政策と人権(22)
13:15 ↓ 14:05			
5		朝鮮の歴史と社会-近世近代(20) 健康・スポーツ科学研究(21) 学校臨床心理学特論(21) 教育老年学(22)	スポーツ・健康医科学(19) ソフトウェア工学(19) 社会的協力論(20) 臨床心理地域援助特論(21)
14:25 ↓ 15:15			
6		心理・教育統計法特論(21) 数理科学(21) 日本文化と思想の展開-内と外と(22)	計算論(16) 生活リスクマネジメント(17) 発達心理学特論(21) 公共政策(22)
15:35 ↓ 16:25			
7		都市社会構造論(18) コミュニティヘルスケア研究(19) カリキュラムの理論と実践(21) 保健医療心理学特論(22)	教育文化の社会学(17) 臨床心理学研究法特論(18) 情報デザイン特論(22)
16:45 ↓ 17:35			
8		障害児・障害者心理学特論(19) 知財制度論(20) リスク社会における市民参加(21) 異文化との出会い(22)	成人発達心理学(17) 臨床心理面接特論Ⅰ(19) 現実と向き合う政治理論(22)
17:55 ↓ 18:45			

※ 赤字は2021年度閉講予定科目 再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。

※ 青字は2022年度新規開講予定科目

2022年度第1学期 単位認定試験時間割 (学部)

時限	曜日	7月17日(日)	7月18日(月)	7月19日(火)	7月20日(水)
1 9:15 10:05		<p>フードシステムと日本農業(18) 哲学・思想を今考える(18) 国際理解のために(19) 社会保障の国際動向と日本の課題(19) 漢文の読み方(19) 老年看護学(19) フードシステムと日本農業(22) 社会教育経営実践論(22)</p>		<p>環境の可視化(15) 運動と健康(18) フランス語Ⅱ(18) ドイツ語Ⅱ(19) 博物館資料保存論(19) 生活経済学(20) 運動と健康(22)</p>	<p>著作権法(18) 自然言語処理(19) 教育社会学概論(19) 経済学を考える(19) 臨床心理学概論(20) 「人新世」時代の文化人類学(20) 著作権法(22)</p>
2 10:25 11:15		<p>看護学概説(16) 化学反応論—分子の変化と機能(17) 地域コミュニティと教育(18) グローバル化時代の日本憲法(19) 世界文学の古典を読む(20) 現代教育入門(21) 看護学概説(22) 近現代ヨーロッパの歴史(22)</p>		<p>CGと画像合成の基礎(16) 物質・材料工学と社会(17) 健康と社会(17) 解析入門(18) 管理会計(18) 心理職の専門性(20) 植物の科学(21) 西洋音楽史(21) 管理会計(22)</p>	<p>生物環境の科学(16) データベース(17) リスクコミュニケーションの現在(18) 入門線型代数(19) コミュニケーション学入門(19) 錯覚の科学(20) 学習・言語心理学(21) 管理会計(22)</p>
3 11:35 12:25		<p>西洋哲学の起源(16) 日本美術史の近代とその外部(18) 生理心理学(18) 量子化学(19) 行政学概説(20) 小児看護学(16) 韓国朝鮮の歴史と文化(21) 西洋哲学の根源(22) 小児看護学(22) 神経・生理心理学(22)</p>		<p>家族と高齢社会の法(17) 技術経営の考え方(17) 人体の構造と機能(18) 現代東アジアの政治と社会(20) 身近なネットワークサービス(20) 開発経済学：アジアの農村から(20) 人体の構造と機能(22)</p>	<p>初級簿記(16) 交通心理学(17) 物理の世界(17) 社会福祉実践の理論と実際(18) 人間にとって貧困とは何か(19) 英語で読む大統領演説(20) 社会福祉実践とは何か(22) 簿記入門(22)</p>
4 13:15 14:05		<p>現代社会へのいざない(16) 政治社会の児童生徒指導(17) 化学結合論—分子の構造と機能(17) 都市マネジメント論(20) 母性看護学(20) 市民自治の知識と実践(21) 都市から見るヨーロッパ史(21) 政治学入門(22)</p>	閉 所 日	<p>心理臨床と身体の病(16) 都市と農村からみる身近な経済(18) 現代人文地理学(18) ヨーロッパ文学の読み方—近代篇(19) 教育調査の基礎(20) 災害社会学(20) 人文地理学からみる世界(22)</p>	<p>経験論から言語哲学へ(16) アジア産業論(17) 情報セキュリティと情報倫理(18) 都市と地域の社会学(18) 今日のメンタルヘルス(19) 現代経済学(19) 情報セキュリティ概論(22)</p>
5 14:25 15:15		<p>小学校外国語教育教授基礎論(17) 現代を生きるための化学(18) 太陽と太陽系の科学(18) 日本政治外史(18) ユーズ調査法(20) 成人看護学(18) 心理臨床における法・倫理・制度(21) 現代を生きるための化学(22)</p>		<p>危機の心理学(17) 初歩からの数学(18) 生活者のための不動産学への招待(18) 東南アジアの歴史(18) データの分析と知識発見(20) 暮らしに活かす不動産学(22)</p>	<p>音を追究する(16) メディア論(18) 行政法(18) リハビリテーション(19) 社会・集団・家族心理学(20) アルゴリズムとプログラミング(20) メディア論(22) 行政法(22)</p>
6 15:35 16:25		<p>新しい時代の技術者倫理(15) 文学批評への招待(18) 問題解決の進め方(19) 情報化社会と国際ボランティア(19) 文学・芸術・武道にみる日本文化(19) ヨーロッパ政治史(20) 原初からへの思索(22) 生涯学習支援の理論と実践(22)</p>		<p>社会福祉への招待(16) 人口減少社会の構想(17) 力と運動の物理(17) 中高年の心理臨床(20) 社会福祉—新しい地平を拓く(22)</p>	<p>日本仏教を捉え直す(18) デジタル情報の処理と認識(18) 健康への力の探究(19) 心理学研究方法(20) 刑法と生命(21)</p>
7 16:45 17:35		<p>地域福祉の現状と課題(18) 精神看護学(19) 日本政治思想史(21) 正多面体と素数(21) 学校図書サービステ論(21) 日本近現代史(21) 地域福祉の課題と展望(22)</p>		<p>博物館展示論(16) 幼児・児童の心理臨床(17) 財政と現代の経済社会(19) 健康長寿のためのスポーツロジー(19) エネルギーと社会(19) リスク社会の家族変動(20) AIシステムと人・社会との関係(20)</p>	<p>コンピュータの動作と管理(17) 子ども・青年の文化と教育(17) 食と健康(18) 数学の歴史(18) 映像コンテンツの制作技術(20) 情報化社会におけるメディア教育(20)</p>
8 17:55 18:45		<p>権力の館を考える(16) 現代の国際政治(18) 生活環境と情報認知(20) 学校と法(20) 中東の政治(20) 世界の中の日本外交(21) 現代の国際政治(22) 空想と政治(22) 初歩のロシア語(22)</p>		<p>歴史と人間(14) 心理臨床とイメージ(16) 「方丈記」と『徒然草』(18) データ構造とプログラミング(18) 英語で「道」を語る(21) 日本語リテラシー(21) 歴史のなかの人間(22)</p>	<p>基礎看護学(16) 日本文学の名作を読む(17) ファイナンス入門(17) 初歩からの化学(18) 知覚・認知心理学(19) はじめての気象学(21)</p>

※ 赤字は2021年度閉講予定科目 再試験受験者のみが受験対象となり、第2学期以降は実施しません。

※ 青字は2022年度新規開講予定科目

郵送受験方式で実施する3科目 (正多面体と素数(21)、日本美術史の近代とその外部(18)、量子化学(19))

※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

7月21日(木)	7月22日(金)	7月23日(土)	7月24日(日)
<p>情報学へのとびら(16) 教育のためのICT活用(17) 身近な統計(18) 心理学概論(18) 博物館経営論(19) 社会と産業の倫理(21) 情報学へのとびら(22) 教育のためのICT活用(22)</p>		<p>自然科学はじめの一步(15) 日本の古代中世(17) 住まいの環境デザイン(18) 疾病の成立と回復促進(21) 日本文学と和歌(21) 自然科学はじめの一步(22)</p>	<p>幼児理解の理論及び方法(15) 初歩のスペイン語(17) 中国語Ⅱ(18) 現代の危機と哲学(18) 肢体不自由児の教育(20) 道徳教育論(21)</p>
<p>ソーシャルシティ(17) 日常生活のデジタルメディア(18) レジリエンスの諸相(18) グローバル化と日本のものづくり(19) コミュニティがもたらす安全、安心(20) 疾病の回復を促進する薬(21) 日常生活のデジタルメディア(22) 学校リスク論(22)</p>		<p>フランス語Ⅰ(18) 耳から学ぶ英語(18) 新しい言語学(18) 博物館概論(19) 韓国語Ⅰ(20) 障害者・障害児心理学(21) グローバル時代の英語(22)</p>	<p>色と形を探究する(17) 法学入門(18) 情報・メディアと法(18) 思春期・青年期の心理臨床(19) 金融と社会(20) 食の安全(21) 地理空間情報の基礎と活用(22)</p>
<p>記号論理学(14) 看護管理と医療安全(18) 社会福祉と法(20) 心理学統計法(21) 雇用社会と法(21) 情報デザイン(21)</p>		<p>数値の処理と数値解析(14) 初歩からの宇宙の科学(17) 新時代の組織経営と働き方(20) 産業・組織心理学(20) NPO・NGOの世界(21) 環境と社会(21) 数値の処理と数値解析(22)</p>	<p>動物の科学(15) 環境問題のとりえ方と解決方法(17) コンピュータと人間の接点(18) 経営情報学入門(19) Webのしくみと応用(19) ライフステージと社会保障(20) 乳幼児の保育・教育(21)</p>
<p>世界文学への招待(16) 初歩からの物理(16) 国際経営(19) 宇宙の誕生と進化(19) 現代の会計(20) 認知症と生きる(21) 量子物理学(21) 世界文学への招待(22) 初歩からの物理(22)</p>	休 日	<p>微分方程式(17) 現代の内部監査(17) 日本文学における古典と近代(18) マーケティング(21) 感情・人格心理学(21) 現代の内部監査(22)</p>	<p>現代フランス哲学に学ぶ(17) 博物館情報・メディア論(18) 総合人類学としてのヒト学(18) 高齢期の生活変動と社会的方策(19) 社会調査の基礎(19) 教育・学校心理学(20) 社会学概論(21)</p>
<p>初歩のイタリア語(17) 中国語Ⅰ(18) ドイツ語Ⅰ(19) 韓国語Ⅱ(20) ビートルズ de 英文法(21)</p>		<p>教育課程の意義及び編成の方法(15) 在宅看護論(17) 現代の家庭教育(18) 知的障害教育総論(20) 心理的アセスメント(20)</p>	<p>民法(17) 考古学(18) 社会統計学入門(18) 問題解決の数理(21) 心理カウンセリング序説(21) 民法(22)</p>
<p>博物館教育論(16) 感染症と生体防御(18) 教育の行政・政治・経営(19) 情報理論とデジタル表現(19) 日本の近世(20) 博物館教育論(22)</p>		<p>発達科学の先人たち(16) 線型代数学(17) 経営学概論(18) 現代日本の政治(19) 災害看護学・国際看護学(20) 情報技術が拓く人間理解(20) 福祉心理学(21)</p>	<p>現代日本の教師－仕事と役割－(15) 海からみた産業と日本(16) 発達心理学概論(17) 特別支援教育基礎論(20) 場と時間空間の物理(20) 日本の教職論(22) 海からみた産業と日本(22)</p>
<p>生物の進化と多様化の科学(17) コンピュータとソフトウェア(18) 心理と教育へのいざない(18) 家族問題と家族支援(20) エントロピーから始める熱力学(20) 睡眠と健康(21) サプライチェーン・マネジメント(21)</p>		<p>日本語アカデミックライティング(17) 舞台芸術の魅力(17) 初歩からの生物学(18) 統計学(19) 認知行動療法(20) ダイナミックな地球(21) 日本語アカデミックライティング(22)</p>	<p>幼児教育の指導法(15) 市民生活と裁判(18) 特別支援教育総論(19) アメリカの芸術と文化(19) 中国と東部ユーラシアの歴史(20) コンピュータ通信概論(20) 精神疾患とその治療(20) 幼児教育の指導法(22) 市民生活と裁判(22)</p>
<p>入門微積分(16) グローバル経済史(18) 死生学のフィールド(18) 生命分子と細胞の科学(19) 情報社会のユニバーサルデザイン(19) 入門微積分(22)</p>		<p>カリキュラムと学習過程(16) 戦後日本教育史(18) 国際法(19) 計算の科学と手引き(19) 日本語学入門(20) 司法・犯罪心理学(20) 遠隔学習のためのパソコン活用(21)</p>	<p>西洋芸術の歴史と理論(16) 精神分析とユング心理学(17) 地球温暖化と社会イノベーション(18) 公衆衛生(19) 暮らしに役立つバイオサイエンス(21) 子どもの人権をどうまもるのか(21)</p>

2022年度第2学期 単位認定試験時間割 (学部・予定)

時限	曜日	1月19日(木)	1月20日(金)	1月21日(土)
1	9:15 } 10:05	精神看護学(19) 日本政治思想史(21) 正多面体と素数(21) 学校図書館サービス論(21) 日本近現代史(21) 地域福祉の課題と展望(22)	自然言語処理(19) 教育社会学概論(19) 経済社会を考える(19) 臨床心理学概論(20) 「人新世」時代の文化人類学(20) 著作権法(22)	基礎看護学(16) 日本文学の名作を読む(17) ファイナンス入門(17) 初歩からの化学(18) 知覚・認知心理学(19) はじめの気象学(21)
2	10:25 } 11:15	生活環境と情報認知(20) 学校と法(20) 中東の政治(20) 世界の中の日本外交(21) 現代の国際政治(22) 空間と政治(22) 初歩のロシア語(22)	「方丈記」と「徒然草」(18) データ構造とプログラミング(18) 英語で「道」を語る(21) 日本語リテラシー(21) 歴史のなかの人間(22)	生物の進化と多様化の科学(17) コンピュータとソフトウェア(18) 心理と教育へのいざない(18) 家族問題と家族支援(20) エントロピーからはじめる熱力学(20) 睡眠と健康(21) サプライチェーン・マネジメント(21)
3	11:35 } 12:25	哲学・思想を今考える(18) 国際理解のために(19) 社会保障の国際動向と日本の課題(19) 漢文の読み方(19) 老年看護学(19) フードシステムと日本農業(22) 社会教育経営実践論(22)	危機の心理学(17) 初歩からの数学(18) 東南アジアの歴史(18) データの分析と知識発見(20) 暮らしに活かす不動産学(22)	健康と社会(17) 解析入門(18) 心理職の専門性(20) 植物の科学(21) 西洋音楽史(21) 管理会計(22)
4	13:15 } 14:05	化学反応論—分子の変化と機能(17) 地域コミュニティと教育(18) グローバル化時代の日本国憲法(19) 世界文学の古典を読む(20) 現代教育入門(21) 看護学概説(22) 近現代ヨーロッパの歴史(22)	生物環境の科学(16) データベース(17) リスクコミュニケーションの現在(18) 入門線型代数(19) コミュニケーション学入門(19) 錯覚の科学(20) 学習・言語心理学(21)	身近な統計(18) 心理学概論(18) 博物館概論(19) 社会と産業の倫理(21) 情報学へのとびら(22) 教育のためのICT活用(22)
5	14:25 } 15:15	日本美術史の近代とその外部(18) 量子化学(19) 行政学概説(20) 韓国朝鮮の歴史と文化(21) 西洋哲学の根源(22) 小児看護学(22) 神経・生理心理学(22)	心理臨床と身体の病(16) 都市と農村からみる身近な経済(18) ヨーロッパ文学の読み方—近代篇(19) 教育調査の基礎(20) 災害社会学(20) 人文地理学からみる世界(22)	フランス語 I(18) 新しい言語学(18) 博物館概論(19) 韓国語 I(20) 障害者・障害児心理学(21) グローバル時代の英語(22)
6	15:35 } 16:25	現代社会の児童生徒指導(17) 化学結合論—分子の構造と機能(17) 大学マネジメント論(20) 母性看護学(20) 市民自治の知識と実践(21) 都市から見るヨーロッパ史(21) 政治学入門(22)	交通心理学(17) 物理の世界(17) 人間にとって貧困とは何か(19) 英語で読む大統領演説(20) 社会福祉実践とは何か(22) 簿記入門(22)	記号論理学(14) 看護管理と医療安全(18) 社会福祉と法(20) 心理学統計法(21) 雇用社会と法(21) 情報デザイン(21)
7	16:45 } 17:35	小学校外国語教育教授基礎論(17) 太陽と太陽系の科学(18) 日本政治外交史(19) ユーザ調査法(20) 成人看護学(18) 心理臨床における法・倫理・制度(21) 現代を生きるための化学(22)	カリキュラムと学習過程(16) 戦後日本教育史(18) 国際法(19) 計算の科学と手引き(19) 日本語学入門(20) 司法・犯罪心理学(20) 遠隔学習のためのパソコン活用(21)	グローバル経済史(18) 死生学のフィールド(18) 生命分子と細胞の科学(19) 情報社会のユニバーサルデザイン(19) 入門積分概論(22)
8	17:55 } 18:45	新しい時代の技術者倫理(15) 文学批評への招待(18) 問題解決の進め方(19) 情報化社会と国際ボランティア(19) 文学・芸術・武道にみる日本文化(19) ヨーロッパ政治史(20) 原初から/への思索(22) 生涯学習支援の理論と実践(22)	色と形を探究する(17) 法学入門(18) 情報・メディアと法(18) 思春期・青年期の心理臨床(19) 金融と社会(20) 食の安全(21) 地理空間情報の基礎と活用(22)	感染症と生体防御(18) 教育の行政・政治・経営(19) 情報理論とデジタル表現(19) 日本の近世(20) 博物館教育論(22)

※ 青字は2022年度新規開講予定科目

郵送受験方式で実施する3科目(正多面体と素数(21)、日本美術史の近代とその外部(18)、量子化学(19))

※第2学期の試験時間割は変更される場合がありますので、必ず2022年度第2学期の「授業科目案内」で確認してください。
 ※同一コマ内に配置された科目は同時履修できません。

1月22日(日)	1月23日(月)	1月24日(火)	1月25日(水)
ソーシャルシティ(17) レジリエンスの諸相(18) グローバル化と日本のものづくり(19) コミュニティがつかなく安全・安心(20) 疾病の回復を促進する薬(21) 日常生活のデジタルメディア(22) 学校リスク論(22)	閉 所 日	動物の科学(15) 環境問題のとらえ方と解決方法(17) コンピュータと人間の接点(18) 経営情報学入門(19) Webのしくみと応用(19) ライフステージと社会保障(20) 乳幼児の保育・教育(21)	博物館展示論(16) 乳幼児・児童の心理臨床(17) 財政と現代の経済社会(19) 健康長寿のためのスポーツロジ(19) エネルギーと社会(19) リスク社会の家族変動(20) AIシステムと人・社会との関係(20)
コンピュータの動作と管理(17) 子ども・青年の文化と教育(17) 食と健康(18) 数学の歴史(19) 映像コンテンツの制作技術(20) 情報化社会におけるメディア教育(20)		微分方程式(17) 日本文学における古典と近代(18) マーケティング(21) 感情・人格心理学(21) 現代の内部監査(22)	家族と高齢社会の法(17) 技術経営の考え方(17) 現代東アジアのためのスポーツと社会(20) 身近なネットワークサービス(20) 開発経済学：アジアの農村から(20) 人体の構造と機能(22)
アジア産業論(17) 都市と地域の社会学(18) 今日のメンタルヘルス(19) 現代経済学(19) 情報セキュリティ概論(22)		環境の可視化(15) フランス語Ⅱ(18) ドイツ語Ⅱ(19) 博物館資料保存論(19) 生活経済学(20) 運動と健康(22)	幼児理解の理論及び方法(15) 中国語Ⅱ(18) 現代の危機と哲学(18) 肢体不自由児の教育(20) 道徳教育論(21)
舞台芸術の魅力(17) 初歩からの生物学(18) 統計学(19) 認知行動療法(20) ダイナミックな地球(21) 日本語アカデミックライティング(22)		発達心理学概論(17) 特別支援教育基礎論(20) 場と時間空間の物理(20) 日本の教職論(22) 海からみた産業と日本(22)	中国語Ⅰ(18) ドイツ語Ⅰ(19) 韓国語Ⅱ(20) ビートルズ de 英文法(21)
初歩からの宇宙の科学(17) 新時代の組織経営と働き方(20) 産業・組織心理学(20) NPO・NGOの世界(21) 環境と社会(21) 数値の処理と数値解析(22)		教育課程の意義及び編成の方法(15) 在宅看護論(17) 現代の家庭教育(18) 知的障害教育総論(20) 心理的アセスメント(20)	発達科学の先人たち(16) 線型代数学(17) 経営学概論(18) 現代日本の政治(19) 災害看護学・国際看護学(20) 情報技術が拓く人間理解(20) 福祉心理学(21)
日本仏教を捉え直す(18) 健康への力の探究(19) 心理学研究法(20) 刑法と生命(21)		国際経営(19) 宇宙の誕生と進化(19) 現代の会計(20) 認知症と生きる(21) 量子物理学(21) 世界文学への招待(22) 初歩からの物理(22)	特別支援教育総論(19) アメリカの芸術と文化(19) 中国と東部ユーラシアの歴史(20) コンピュータ通信概論(20) 精神疾患とその治療(20) 幼児教育の指導法(22) 市民生活と裁判(22)
音を追究する(16) リハビリテーション(19) 社会・集団・家族心理学(20) アルゴリズムとプログラミング(20) メディア論(22) 行政法(22)		考古学(18) 社会統計学入門(18) 問題解決の数理(21) 心理カウンセリング序説(21) 民法(22)	現代フランス哲学に学ぶ(17) 博物館情報・メディア論(18) 総合人類学としてのヒト学(18) 高齢期の生活変動と社会的方策(19) 社会調査の基礎(19) 教育・学校心理学(20) 社会学概論(21)
日本の古代中世(17) 住まいの環境デザイン(18) 疾病の成立と回復促進(21) 日本文学と和歌(21) 自然科学はじめての一步(22)		人口減少社会の構想(17) 力と運動の物理(19) 中高年の心理臨床(20) 社会福祉－新しい地平を拓く(22)	西洋芸術の歴史と理論(16) 精神分析とユング心理学(17) 地球温暖化と社会イノベーション(18) 公衆衛生(19) 暮らしに役立つバイオサイエンス(21) 子どもの人権をどうまもるのか(21)

2022年度学年暦

《第1学期》

月	4 月		5 月		6 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 金	第1学期放送授業開始 集中科目募集要項配布（～5/31）		日	面接授業（宮脇）（中尾） 第1学期同時双方向Web授業開始 集中科目履修生等科目登録（～5/31）	水	
2 土			月	月曜閉所日	木	
3 日			火	閉所日 祝日（憲法記念日）	金	
4 月	月曜閉所日		水	閉所日 祝日（みどりの日）	土	面接授業（中村）（山崎）
5 火	第1学期オンライン授業開始		木	閉所日 祝日（こどもの日）	日	↓（中村）（山崎）
6 水			金		月	月曜閉所日
7 木			土		火	
8 金			日		水	
9 土			月	月曜閉所日 通信指導提出期間（web～5/31）	木	
10 日			火		金	2022年度第2学期出願受付開始（第1回～8/31） 2023年度大学院修士（博士）全本科生募集 要項配布（～8/26）
11 月	月曜閉所日		水		土	面接授業（橋口）
12 火			木		日	↓（橋口）
13 水			金		月	月曜閉所日
14 木			土	面接授業（岸根）（羽石）	火	
15 金			日	↓（岸根）（羽石）	水	
16 土	面接授業空席発表		月	月曜閉所日 通信指導提出期間（郵送～5/31）	木	
17 日			火		金	
18 月	月曜閉所日		水		土	面接授業（井上）
19 火			木		日	↓（井上）
20 水			金		月	月曜閉所日
21 木	面接授業追加登録開始（～7/17）		土	面接授業（鈴田）	火	
22 金			日	↓（鈴田）	水	
23 土			月	月曜閉所日	木	
24 日			火		金	
25 月	月曜閉所日		水		土	面接授業（青木）（日高）
26 火			木		日	↓（青木）（日高）
27 水			金		月	月曜閉所日
28 木			土	面接授業（松山）	火	
29 金	閉所日 祝日（昭和の日）		日	↓（松山）	水	
30 土	面接授業（宮脇）（中尾）		月	月曜閉所日	木	
31			火			

2022年度第2期学生募集出願受付（第1回6/10～8/31）（第2回9/1～9/13）
2023年度卒業研究履修の手引きの配布（6月上旬～）

月	7 月		8 月		9 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1	金		月	月曜閉所日	木	2022年度第2学期出願受付開始 (第2回~9/13)
2	土		火		金	
3	日		水		土	
4	月	月曜閉所日	木		日	
5	火		金		月	月曜閉所日
6	水		土		火	
7	木		日		水	
8	金		月	月曜閉所日	木	
9	土		火		金	
10	日		水		土	
11	月	月曜閉所日	木	閉所日 祝日(山の日)	日	
12	火		金	閉所日 2023年度卒業研究履修申請受付 (~8/18)	月	月曜閉所日
13	水		土	閉所日 2023年度大学院修士(博士)全生出願受付(郵送・Web~8/26)	火	2022年度第2学期出願受付終了(第2回)
14	木		日	閉所日	水	
15	金	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	月	月曜閉所日 第2学期科目登録申請受付(面接授業含む)(郵送~8/30、Web~8/31)	木	
16	土	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	火		金	
17	日	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	水	集中科目履修生通信指導提出期限	土	
18	月	月曜閉所日 祝日(海の日) ☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	木		日	
19	火	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	金		月	月曜閉所日 祝日(敬老の日)
20	水	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部) 集中科目履修生放送授業(~8/4)	土		火	
21	木	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	日		水	
22	金	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	月	月曜閉所日	木	
23	土	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	火		金	閉所日 祝日(秋分の日)
24	日	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	水		土	
25	月	月曜閉所日 ☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	木		日	第1学期学位記授与式・第2学期入学者の集い
26	火	☆単位認定試験Web受験方式(大学院・学部)	金	2023年度大学院修士(博士)全生出願受付終了	月	月曜閉所日
27	水		土		火	
28	木		日		水	
29	金		月	月曜閉所日	木	
30	土		火		金	
31	日		水	2022年度第2学期出願受付終了(第1回)		

《第2学期》

月	10 月		11 月		12 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 土	第2学期放送授業開始 2023年度大学院修士(博士)全科生第1次選考(筆記)		火	第2学期同時双方向Web授業開始 2022年度卒業研究報告書提出期限	木	
2 日			水		金	
3 月	月曜閉所日		木	閉所日 祝日(文化の日)	土	面接授業(山田)
4 火			金		日	↓ (山田)
5 水	第2学期オンライン授業開始		土	面接授業(萩原)(宮武)	月	月曜閉所日
6 木			日	↓ (萩原)(宮武)	火	
7 金	集中科目履修生(司書教諭)単位認定試験課題提出期限		月	月曜閉所日	水	
8 土			火	通信指導提出期間(web~11/29)	木	
9 日			水		金	
10 月	月曜閉所日(スポーツの日)		木		土	面接授業(中島)
11 火			金		日	
12 水			土	2023年度大学院修士全科生第2次選考 (面接試験~11/13) 面接授業(古川)(荒木)(三島)	月	月曜閉所日
13 木			日	↓ (三島)	火	
14 金			月	月曜閉所日	水	
15 土	面接授業空席発表 面接授業(岡嶋)		火	通信指導提出期間(郵送~11/29)	木	
16 日	↓ (岡嶋)		水		金	
17 月	月曜閉所日		木		土	面接授業(中島)(皆本)
18 火			金		日	↓ (皆本)
19 水			土	面接授業(古川)(荒木)	月	月曜閉所日
20 木	面接授業追加登録期間(~1/15) 面接授業(戸ヶ里)		日		火	
21 金	↓ (戸ヶ里)		月	月曜閉所日	水	
22 土			火		木	
23 日			水	祝日(勤労感謝の日)	金	
24 月	月曜閉所日		木		土	
25 火			金		日	
26 水			土		月	月曜閉所日
27 木			日		火	
28 金			月	月曜閉所日	水	
29 土	面接授業(村久保)(藤井)		火		木	閉所日(年末)
30 日	↓ (村久保)(藤井)		水	2023年度第1学期出願受付開始 (第1回11月下旬~2/28)	金	閉所日(年末)
31 月	月曜閉所日				土	閉所日(年末)

2023年度第1学期学生募集出願受付(11月下旬~2/28)(3/1~中旬)

月	1 月		2 月		3 月	
日 曜	事 項		曜	事 項	曜	事 項
1 日	閉所日 (年始)		水		水	2023年度第1 学期出願受付開始 (第2 回～3月中旬)
2 月	月曜閉所日 (年始)		木		木	
3 火	閉所日 (年始)		金		金	
4 水			土		土	
5 木			日		日	
6 金			月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
7 土	面接授業 (小林) (古賀、熊谷、武富)		火		火	
8 日	↓ (小林) (古賀、熊谷、武富)		水		水	
9 月	月曜閉所日 祝日 (成人の日)		木		木	
10 火			金		金	
11 水			土	閉所日 祝日 (建国記念の日)	土	
12 木			日		日	
13 金			月	月曜閉所日 2023年度第1 学期科目登録申請受付 (面接授業を含む) (郵送～2/27、Web～2/28)	月	月曜閉所日
14 土			火		火	
15 日			水		水	
16 月	月曜閉所日		木		木	
17 火	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		金		金	
18 水	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		土		土	
19 木	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		日		日	
20 金	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
21 土	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		火		火	祝日 (春分の日)
22 日	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		水		水	
23 月	月曜閉所日 ☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		木	閉所日 祝日 (天皇誕生日)	木	
24 火	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		金		金	
25 水	☆単位認定試験Web受験方式 (大学院・学部)		土		土	
26 木			日		日	学位記授与式・入学者の集い
27 金			月	月曜閉所日	月	月曜閉所日
28 土			火	2023年度第1 学期出願受付終了 (第1 回)	火	
29 日			\		水	
30 月	月曜閉所日				木	
31 火					金	

※ 面接授業の開設日は予定です

登録科目名等のメモ

1 学 期

学生の種類	学 生 番 号	学生証の有効期限	氏 名
		年 月 末まで	

●放送授業・オンライン授業・同時双方向Web授業

登録科目名・再試験科目名	単位認定試験の有無	単位認定試験日	時限／ 時 間
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :
	有 ・ 無	月 日()	時限／ : ~ :

●面接授業

登 録 科 目 名	受 講 日	時 間
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :
	月 日()	: ~ :

学習進度チェック表

- (注1) ① 学習は、15章からなる印刷教材での学習とそれに対応する15回の放送授業の視聴が1つのセットとなります。
- ② 各回の学習を終えたら、「印刷教材による学習」「放送授業の視聴による学習」のそれぞれの回の欄をチェックしたり日付を記入して、学習の進み具合を記録しましょう。
- ③ 通信指導の課題提出は、余裕を持って提出しましょう。
- (注2) オンライン授業は、科目毎に学習内容、通信指導の有無、単位認定試験の有無が異なっていますので、必ずシラバス及び開講後の案内を確認するとともに、オンライン授業システムで自分の学習状況を確認するようにしてください。

年度・学期	年度 第 学期																			
授業科目名																				
印刷教材による学習	1	2	3	4	5	6	7	8	<input type="checkbox"/> 通信指導の提出 (締切) 月 日 日必着です	9	10	11	12	13	<input type="checkbox"/> 通信指導結果の受け取り (月 中旬頃)	<input type="checkbox"/> 受験票の受け取り (試験一週間前まで)	14	15	<input type="checkbox"/> 単位認定試験受験	<input type="checkbox"/> 成績評価の受け取り (月 中旬頃)
	放送授業の視聴による学習	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12			13	14		
備考																				

※この「学習進度チェック表」は授業科目ごとにコピーしてご使用ください。

2022年度佐賀学習センター閉所日カレンダー

(第1学期)

4 月								5 月								6 月							
月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日	
				1	2	3								1				1	2	3	4	5	
4	5	6	7	8	9	10		2	3	4	5	6	7	8		6	7	8	9	10	11	12	
11	12	13	14	15	16	17		9	10	11	12	13	14	15		13	14	15	16	17	18	19	
18	19	20	21	22	23	24		16	17	18	19	20	21	22		20	21	22	23	24	25	26	
25	26	27	28	29	30			23	24	25	26	27	28	29		27	28	29	30				
								30	31														

7 月								8 月								9 月							
月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日	
				1	2	3		1	2	3	4	5	6	7					1	2	3	4	
4	5	6	7	8	9	10		8	9	10	11	12	13	14		5	6	7	8	9	10	11	
11	12	13	14	15	16	17		15	16	17	18	19	20	21		12	13	14	15	16	17	18	
18	19	20	21	22	23	24		22	23	24	25	26	27	28		19	20	21	22	23	24	25	
25	26	27	28	29	30	31		29	30	31						26	27	28	29	30			

(第2学期)

10 月								11 月								12 月							
月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日	
					1	2					3	4	5	6					1	2	3	4	
3	4	5	6	7	8	9		7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11	
10	11	12	13	14	15	16		14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18	
17	18	19	20	21	22	23		21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24	25	
24	25	26	27	28	29	30		28	29	30						26	27	28	29	30	31		
31																							

1 月								2 月								3 月								
月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日		
						1					1	2	3	4	5					1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8		6	7	8	9	10	11	12		6	7	8	9	10	11	12		
9	10	11	12	13	14	15		13	14	15	16	17	18	19		13	14	15	16	17	18	19		
16	17	18	19	20	21	22		20	21	22	23	24	25	26		20	21	22	23	24	25	26		
23	24	25	26	27	28	29		27	28							27	28	29	30	31				
30	31																							

閉所日

佐賀学習センター案内図

●JR佐賀駅から徒歩10分



●詳細図



交通のご案内

- JR佐賀駅から徒歩で10分
JR佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に200メートルほど進み「駅前交番西」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。
- JR佐賀駅からバスで
佐賀駅バスセンター2番乗り場から行先番号58番「中折・クレオパーク鍋島」又は59番「鍋島駅・医療センター」行き(およそ30分間隔で運行、所要時間5分程度、大人運賃160円)に乗りし、「どんの森前」バス停で下車してください。どんの森(どんどんどん)の森の緑地帯にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。
- タクシー
JR佐賀駅南口乗り場から約5分

—— 放送大学のシンボルマークについて ——



(製作 永井一正氏)

1. 知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
2. 多数の人々が教育をうける機会を表す。
3. 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

放送大学イメージキャラクター
名称は“まなびー”



(命名者 小寺光雄氏)

1. 放送大学で学び、未来への夢を広げる鳩。
2. 「あなた」の心に学びを届ける伝書鳩をイメージしています。

利用の手引

2022年4月発行

放送大学佐賀学習センター

〒840-0815 佐賀市天神3-2-11 (アバンセ4階)

TEL 0952-22-3308 FAX 0952-22-3398

E-mail saga-sc@ouj.ac.jp